



としょかんだより



令和3年2月2日（火）
久原小学校図書館
文責 学校司書 横山 柳子

2月2日は、節分です。節分にまつわる話や鬼がでてくる本がたくさんあります。本を紹介したいと思いますので、学校図書館やレスポアール図書館で、見つけて読んでみてくださいね。



節分の由来

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪い物を追い出す日。「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをします。節分という言葉には「季節を分ける」という意味があります。

昔の日本では、春は一年のはじまりとされて、大切にされました。



PTAから本34冊を寄贈していただきました。



久原小学校に本の寄贈をしていただきました。みなさんに読書を楽しんでほしいと思っております。寄贈していただいた本は、図書館カウンター前に展示していますので、みんなでなかよく読んでください。



新しい本貸出受付中！2学期の終わりに、図書委員や6年生に聞いて本を選びました。人気シリーズの続編も入ってきています。



図書委員会の最後の読み聞かせ

久原小のみんなに本をたくさん読んでもらうために、図書委員会が計画をしてきました。実現できて、とてもうれしいです。

みんなで、何度も読む練習をしてきました。読み聞かせが終わった後、先生にほめられたことが、とてもうれしかったです。



「ハーメルンのふえふき」を読んで、思った以上に、みんな真剣に聴いてくれて、心の中でうれしくなりました。でも、最後の委員会活動の読み聞かせができて、よかったです。



「うさぎのみみはなぜながい」を読んで、この本はとても長い本でみんなが、聴いてくれるかなと思いました。最後まできちんと聴いてくれてよかったです。僕たちは、何回も練習をして、この読み聞かせをしました。



「わたしのヒロシマ」を読んで六年の教科書に戦争と平和について書かれた作品を見つけて読み聞かせをしましたが、みんないっしょけんめいに聴いてくれてうれしくなりました。

冬の本を読もう！

図書館の入り口に、今年の干支である“うし”に関する本を、いくつか展示しています。展示している本のほかにもまだまだたくさんあります。

うし年にちなんで、牛がでてくる本を見つけて読んでみませんか？